

公益財団法人とちぎ未来づくり財団 令和3年度事業報告書

令和3年4月1日から令和4年3月31日までの本財団の事業について、次の通り報告する。

概要

本財団は、次代を担う子ども及び青少年の健全育成並びに福祉の増進に資することと、県民の生活に潤いと活力をもたらす文化の振興に寄与することを目的として、平成23年4月1日に設立され、平成25年4月には公益財団法人の認定を受け、公共性の高い各種事業の展開により地域社会に貢献している。

法人設立11年目、公益認定9年目となる令和3年度は、引き続き青少年健全育成事業、文化の振興に関する事業、埋蔵文化財の保護及び調査に関する事業などを、相互の連携のもと実施するとともに、県有施設である「栃木県総合文化センター」「栃木県子ども総合科学館」「栃木県立とちぎ海浜自然の家」「栃木県立なす高原自然の家」の指定管理者として、また「栃木県埋蔵文化財センター」の管理業務受託者として、各施設の機能を最大限に発揮できるよう適切な管理運営等に務めた。

しかしながら、令和2年度から続く新型コロナウイルス感染症の影響で、令和3年度においても各種主催事業の中止・延期や施設の休館などが続き、利用者数は低い水準となっている。施設の運営・事業の実施については、ウィズコロナの考え方に則して、利用者の安全を最優先に取り組んできたが、令和4年度も、引き続き県や関係機関との連携を図り最善の対応をしていく。

また、今後の埋蔵文化財センターの運営や体制等について話し合う「あり方検討会」が、県主管課を中心に実施されており、今後の方針がとりまとめられる予定である。令和4年度以降はこの方針に沿って、事業運営の見直しや職員の採用など具体的に対応していく。

I 事業の状況

A. 次代を担う子ども及び青少年の健全育成並びに福祉の増進に資する事業

1 青少年健全育成事業〔栃木県青少年育成県民会議事業〕

(1) 市町村民会議との連携強化、住民啓発促進に関する事業

新型コロナウイルス感染症の影響により関係者が一堂に会する全体連携会議は中止としたが、オンラインを活用した連絡会や研修会を実施し、市町村民会議や青少年関係団体等との連携強化に努めた。また、県・市町・団体等の実施する青少年育成事業に共催や後援を行ったほか、参加することにより連携を深めた。

《主な事業》

ア 青少年育成市町村民会議支援

- ・市町村民会議の組織強化、活動支援

イ 青少年育成指導員活動支援

- ・育成指導員の活動支援
- ・内閣府主催研修会への派遣

ウ 啓発資料作成

- ・「青少年とちぎ」の発行
- ・県民運動啓発物品等の作成

エ 青少年育成団体連携

- ・各青少年育成関係団体との連絡調整
- ・県、市町、団体等の実施する青少年育成関連事業への共催、後援及び参加

(2) 青少年の自立と社会参加活動の推進に関する事業

主体的に判断し行動できる資質や能力を身につけるための事業を行い、青少年の健全育成を図

った。

《主な事業》

- ア 少年の主張発表大会
 - ・地区大会への助成
 - ・県大会の開催
 - ・全国大会への推薦
 - イ 青少年育成県民会議表彰
 - ・青少年育成に功績のあった団体、個人等の表彰
 - ・永年（20年）賛助会員への感謝状の贈呈
 - ウ 親子学び合い（ネット時代の歩き方講習会）事業
 - ・ネット時代をよりよく歩んでいくために必要な力や環境づくりについて考える講習会の開催
 - エ 親子学び合い（ネット時代の歩き方講習会）事業講師養成講座
 - ・子ども達に価値あるネットとの向き合い方、自分を成長させるネット利用について新たな気づきを与える講習会の講師を養成する講座を開催
 - オ 親子学び合い講師フォローアップ研修
 - ・講師養成講座を修了し、「とちぎネット利用アドバイザー」として認定した者を対象とした研修を開催
 - カ 生き生き体験活動
 - ・中高生のリーダー育成を図る団体への助成活動
- (3) 「とちぎ心のスクラム県民運動」推進事業
- 青少年育成運動の一層の推進を図るため、県や市町、教育委員会、県警察本部、子ども会、PTAなど関係団体との連携を強化し、県民運動推進体制の整備を図った。「家庭の日」絵日記コンテストにおいては、前年度の850点を大きく上回る1,331点の応募があった。

《主な事業》

- ア 県民運動推進
 - ・「県民のつどい」開催
- イ 「家庭の日」推進
 - ・「家庭の日」絵日記コンテストの実施、啓発ポスターの作成

2 栃木県子ども総合科学館管理運営事業（公益事業1）

子どもの科学への関心を高める魅力的な事業展開を図り、科学技術普及啓発施設としての役割を果たすとともに、学校や児童館との連携を強化し、大型児童館として県内児童館への技術指導や連携事業など実践的な活動を行った。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和3年(2021)年7月30日(金)～9月30日(木)について、屋外施設を除く有料施設の休館などの対応を行った。

また、新型コロナウイルス感染症対策として、サーマルカメラによる入館者の迅速な体温測定や、展示場及びプラネタリウムにおいて密を避けるために入場者数の制限をするなどの措置をとった。

(1) 展示場の運営および各種教室の実施に係る事業

- ア 展示場等の運営
 - 展示品の解説などを実施した。
- イ 企画展の開催
 - a 第79回企画展「シカクのフシギ ～光と視覚のサイエンス～」
令和3年(2021)年7月22日(木)～7月29日(木)
視覚について関心を高めるため、錯視や錯覚図形、トリックアートを体験し、さらに目のしくみ、光とは何か、色とは何かについて紹介する企画展を実施した。

8月29日(日)までの開催予定であったが、7月30日から新型コロナウイルス感染症拡大防止対応で臨時休館となったため、7日間のみ開催となった。

b 第80回企画展「図鑑の世界に飛び込もう ～未来君のGOTOくらべる～」

令和4年(2022)年3月19日(土)～4月6日(水)

子どもたちに人気の小学館のくらべる図鑑巡回展に、科学館独自の要素を追加して構成した企画展を実施した。感染症対策のため、接触する機会を減らし、図鑑データの大型パネルや映像をみることを中心とする構成とした。

ウ 科学技術コンクール ～ロボット・チャレンジ 2021～

ものづくりの機会の少なくなった青少年を対象に、自作ロボットによる競技会を行った。前年度に引き続きコロナ対策として、対戦型ではなくタイムレースの競技とした。

エ 各種教室の実施

臨時休館中でない期間は、「科学工作教室」、「ミニ工作」、「移動科学教室」、「出張サイエンスショー」などを当初の計画日程にそって実施した。臨時休館中に中止した教室の一部は、開館後に実施した。

(2) プラネタリウム及び天文台の利用に係る事業

ア プラネタリウムの投影

宇宙人の存在を現代科学的に考える当館オリジナル番組のほかに、NHKのチョコちゃん宇宙についての知識を深める番組等の一般向け番組を年間4本、当館オリジナル番組で、みらい君とブラックホールについて紹介する内容等の年少向け番組を年間2本投影した。

また、天文学習の支援をねらいとした学習番組や、「星空さんぽ」、「星と音楽のひととき」などのライブ特別番組を投影した。

イ 天文台の利用

天文台を利用して土・日曜日の夜を中心に「星をみる会」を年間23回実施(内8回はWeb配信した。また、昼間でも見ることのできる天体や太陽の観察を行う「天文台公開」を18回、そのうちWeb配信で年間9回実施(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため1回中止、悪天候のため3回中止)した。

ウ その他天文普及活動

皆既月食などの天文現象を観察する天文教室を2回(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため1回中止)。簡易プラネタリウムを自分で作る天文工作教室を年間1回実施した(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため1回中止)。また、新聞やテレビなどのメディアへ天文情報を提供することにより広報普及を行った。

(3) 児童厚生施設としての利用に係る事業

ア 体験・育成事業

昨年度から実施している「工作のテイクアウト」のほか「おしごとラボカンパニー」や「パズルの日」を時間制で実施した。また「おりがみであそぼう」(実施主体おりがみボランティア)も再開するなど、感染症対策を講じながら、事業の継続実施に努めた。

さらに、じっくりと遊びに取り組む「特別プログラム」や未就園児の親子を対象とした「まめっこタイム」も、屋外での活動や定員制の導入などの工夫をしながら実施した。

イ 県内児童健全育成団体等への援助・指導、連絡調整等の事業

県内の児童館、放課後児童クラブ、子育てサークル等への「あそびの出前」については、内容を変更し、感染症拡大防止の対策を講じながら11団体中9団体で実施した。

県内児童館と共同でプログラムをおこなう「あそびの連携事業」については、1団体で実施した。

児童館のPRと職員間の交流・職員の資質向上を目的に開催する「じどうかんフェア」は中止となったが、目的を児童館のPRにしぼった「とちぎのじどうかん展」を実施した。内容は、

栃木県児童館連絡協議会加盟の23の児童館の協力を得て『工作のテイクアウト feat. じどうかん』と、11の児童館から出展された児童館活動写真展『じどうかんですまいるきゃっち』の2本立てであった。

また、栃木県児童館連絡協議会事務局として、遊具貸出をはじめ県内児童館の活動支援や連携強化事業を実施するとともに、県内の児童館・放課後児童クラブへの情報提供や指導員等の資質向上のための研修事業などを、感染症拡大防止に努めながら実施した。

ウ 乗り物広場の運営及び屋外遊具の管理

変わり種自転車の貸し出し、ミニ機関車の運行とそれらの点検・整備等を実施するとともに、屋外遊具の安全点検を行った。なお、運営の際には、感染症拡大防止の対策を講じて行った。

(4) 大規模改修に向けての準備

展示基本設計の内容確認や校正の業務および企業との打ち合わせ、展示業者の現地調査対応等を県の依頼に応じて実施した。

3 栃木県立とちぎ海浜自然の家管理運営事業（公益事業1）

栃木子どもたちに海の自然や文化に触れさせる「海の分教場」、幅広い利用者に多様な学習の場を提供する「生涯学習施設」としての役割を果たし、「とちぎの海のふるさと」として県民に愛される施設を目指した管理運営を行った。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和3年(2021)年8月20日(金)から9月30日(木)まで臨時休所とした。

また、開所後も、衝立の設置・消毒液の設置・寝具類の配置間隔の見直しといった感染防止対策を行い、利用者・職員の健康に留意した。

(1) 臨海自然教室事業

実施時期：年間

対象：栃木県内の小学校、県立盲・聾・特別支援学校（小学部）の児童

延べ利用者数：16,217名（昨年度利用者数：9,709名）

内容：栃木県の小学5年生を対象に、海辺での集団宿泊や自然活動など、様々な体験的な学習を教育活動の一環として実施した。また、活動プログラムの提供を行うとともに実施に当たっての指導助言などを行うことにより、安全に有意義な体験活動が行えるよう支援した。

(2) 各種団体受入事業

実施時期：年間随時

対象：学校、企業、各種団体等（視察を含む。）

延べ利用者数：10,670名（昨年度利用者数：4,584名）

内容：県内外の学校教育・社会教育団体や企業等を受け入れ、研修、交流活動、家族の触れ合い活動等を支援した。また、施設・備品等の貸出しや活動プログラムの提供や活動に対する助言を行うことにより、安全に有意義な生涯学習活動が行えるよう支援した。

(3) 主催事業

周辺の自然環境を活かし、教育施設としての目的に合致した企画事業を実施した。

全8事業、総参加者数：720名（昨年度参加者数：703名）

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4事業中止。

《主な事業》

ア 海浜メロン狩り

イ 真夏の祭典！地引網

ウ 開運！海浜初日の出 ほか

4 栃木県立なす高原自然の家管理運営事業（公益事業1）

山の自然や文化に触れさせる「山の分教場」、那須高原に位置する「生涯学習施設」として、周辺の豊かな自然を活用した青少年の団体宿泊学習や県民の多様な団体活動を支援することにより、青少年の健全育成と生涯学習の振興を図った。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和3年(2021)年8月20日(金)から9月30日(木)まで臨時休所とした。

また、所内の換気の徹底や3密を避け宿泊室や浴室の定員制限などの感染防止対策を行い、利用者・職員の健康に留意するとともに、継続して利用者には検温、消毒、マスクの使用を依頼した。

(1) 各種団体受入事業

栃木県内外の学校、社会教育団体等に研修の場を提供した。また、施設、備品等の貸出し、活動プログラムの提供や活動に対する助言を行うことにより安全で有意義な生涯学習活動が行えるよう支援した。

期日：通年

対象：研修を目的とした団体・グループ

内容：登山・ハイキング、野外・自然体験活動、スポーツ・レクリエーション活動、創作活動、調理活動、その他の活動

延べ利用者数：15,322名（昨年度利用者数：6,185名）

(2) 主催事業

周辺の自然環境を活かし、社会教育施設としての目的に合致した企画事業を実施した。

全9事業、総参加者数：254名（昨年度参加者数：170名）

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、6事業中止。

《主な事業》

ア ふれあい登山教室 in 那須連峰

イ こどもチャレンジキャンプ

ウ ふれあい広場 ほか

B. 県民の生活に潤いと活力をもたらす文化の振興に寄与する事業

5 文化の振興に関する事業（公益事業2）

県民文化の振興と文化活動の支援のため、良質な舞台芸術の鑑賞事業と県民の文化活動への参加・創造・交流事業を実施した。今年度は栃木県総合文化センターの開館30周年にあたるため、記念公演として大型の公演を企画し、多くの県民に来館いただく予定だったが、前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症拡大の影響を多大に受けた。予定した事業の2/3はガイドラインに基づき感染予防対策を講じたうえで実施できたが、それ以外の事業については中止に至った。

予定：33事業67公演

実施：22事業38公演

中止：11事業29公演

《主な事業》

(1) 自主財源による文化事業

財団主催の各種文化事業及び民間事業団体等との各種共催事業等を実施した。

ア 主催事業

平日の贈り物♪ランチタイムコンサートシリーズ 全3回

Vol.38「西口彰子ソプラノ・リサイタル」 ほか

栃木県総合文化センター開館30周年記念事業
声優朗読劇 VORLESEN フォアレーゼン～日光三剣士伝～
ららら♪クラシック コンサート
音楽劇『海の上のピアニスト』 ほか

イ 共催事業

劇団四季 ミュージカル『The Bridge～虹の架け橋』
栃木県総合文化センター開館30周年記念 NHK「新・BS 日本のうた」公開録画 ほか

(2) 栃木県補助金等による文化事業

ア 鑑賞型事業

栃木県総合文化センター開館30周年記念事業
栃木県総合文化センター狂言シリーズ第25弾 狂言 万作の会

イ とちぎ舞台芸術アカデミー（参加創造交流型文化事業）

【音楽部門】

栃木県総合文化センター開館30周年記念事業
栃木県新人音楽家演奏会－未来にはばたけとちぎの音楽人－《新規事業》
第25回コンセール・マロニエ21（木管楽器部門）
学校訪問演奏会『音楽って素晴らしい！学校でこんにちは！』
（河内・上都賀・芳賀地区） ほか

6 埋蔵文化財の保護及び調査研究に関する事業（公益事業3）

埋蔵文化財の保護及び調査研究のための発掘調査事業を実施するとともに、栃木県埋蔵文化財センターの管理運営事業を行った。

(1) 埋蔵文化財発掘調査事業

栃木県及び国、県内市町からの委託を受け、開発地内等の埋蔵文化財の発掘調査事業を実施した。

※ 発掘調査及び整理事業件数 12件

《主な事業》

ア 栃木県からの受託事業

- ・いにしえのとちぎ発見どき土器わく湧くプロジェクト／侍塚古墳（大田原市）
- ・道路整備事業／城ノ内遺跡（上三川町）
- ・農地整備事業／小泉分校裏遺跡（益子町） ほか4件

イ 国からの受託事業

- ・粟宮宮内遺跡 ほか1件

ウ 市町からの受託事業

- ・四十八塚古墳群（佐野市）
- ・さくら市遺跡詳細分布調査（さくら市）
- ・塩谷町遺跡詳細分布調査（塩谷町）

(2) 栃木県埋蔵文化財センターの管理運営事業

栃木県からの委託を受け、埋蔵文化財センターの施設維持管理を行うとともに、埋蔵文化財の保存・活用及び埋蔵文化財に関する知識の普及に関する事業を行った。

《主な事業》

ア 埋蔵文化財に関する情報収集及び提供

- 遺物・図面・写真等の貸出や「埋蔵文化財センターだより」（年2回）・「壁新聞」（年1回）
- ・「とちぎ発掘調査成果情報誌」（年1回）を発行した。

イ 埋蔵文化財に関する普及・啓発

発掘調査報告会、現地説明会の開催、学校等の施設見学及び出前事業、埋蔵文化財センターの特別公開、常設展示及び特集展示、ミニテーマ展示、県庁本館ミニ展示、各種講座の開催等を通じて、広く県民に埋蔵文化財保護の重要性やその保存・活用についての理解や関心の向上に努めた。

また市町資料館等と連携し、地域の遺跡・出土品を活用した事業等の支援を行った。

ウ 研修

教員や生涯学習担当職員を対象とした埋蔵文化財活用のための基礎講座を実施した。

エ 埋蔵文化財等出土品の管理

(3) 職員の出向

埋蔵文化財調査の技術支援のため、公益財団法人福島県文化振興財団に職員1名を出向させた。(なお、経費の執行等は法人会計に計上している。)

7 栃木県総合文化センター管理運営事業 (収益事業)

県内文化振興の拠点施設である栃木県総合文化センターの利用受付・打ち合わせ、利用者及び来館者サービス事業、施設維持管理業務、危機管理対策及び事業評価を行った。また、大規模改修工事後の設備調整等対応を行った。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため7月30日(金)～9月30日(木)の期間、予約済み利用者を除き休館の対応を行った。

《主な事業》

(1) 施設利用受付・打ち合わせ業務

ホール、ギャラリー、会議室、各種練習室等の利用受付及び打ち合わせを行なった。

(2) 利用者及び来館者サービス業務

催し物案内の発行、ホームページやメールマガジン等による催事情報の提供を行うとともに、文化団体や企業向けに施設利用促進を図る広告、広報活動を行なった。

施設利用のアドバイスのほか、利用者のニーズに合わせてケータリングや会場設営などのサービスを提供する「らくらくサービス」事業を実施した。

(3) 施設の維持管理業務

利用に支障が生じないよう各種設備の保守点検を定期的に行うとともに、快適な館内環境を維持するため関連設備・備品等の適切な管理を行なった。また、必要に応じ工事及び修繕を行った。

(4) 危機管理対策

来館者の安全を守るため、防災設備等の保守点検及び消防訓練を実施するとともに、危機管理マニュアルの点検を行った。

また昨年度から継続して、新型コロナウイルス感染症対策を行った。清掃時の消毒作業実施、密集防止のため施設利用人数の制限、手指消毒用アルコールの各所への設置、主要入口へのサーマルカメラ設置、注意喚起表示の各所への掲出、ソーシャルディスタンス確保のため施設一部の利用制限、施設利用者を対象とした感染症対策徹底についての要請等である。なお、当センターは特定建築物として十分な換気を通常実施しているが、空気環境のモニタリング等に特に留意した。

(5) 事業評価

利用者に快適にご利用いただくため事業評価を実施し、更なるサービス向上に努めた。

(6) 大規模改修後の対応

県による大規模改修工事が終了しており、財団として県と連携を図りつつ、当該工事対象から漏れた改修工事についての調整等各種対応に努めた。

C. 広報活動に関する事業

- (1) 新聞や情報誌等広報媒体を活用し、施設や財団事業案内の広報を行った。
- (2) 財団発行の広報誌による活動として、「青少年とちぎ」（年1回発行）や「イベントカレンダー」（年6回／総合文化センター）、「埋蔵文化財センターだより」（年2回／埋蔵文化財センター）などを発行し、関係機関及び県民に配布した。
- (3) インターネットによる活動として、各事業所で独自にホームページを整備して情報発信をするとともに、財団ホームページにも各事業所の更新情報を掲載したほか、総合文化センターの事業等の最新情報を、メールマガジンにて、毎月1回1,102名の登録者（3月31日現在）に発信した。その他、フェイスブックによる広報についても実施した。

D. その他目的を達成するために必要な事業

県内23の公立文化施設で構成する栃木県公立文化施設協議会の運営事務局として、全国他県の動向など、各種情報の提供及び管理・技術関係の研修会を開催するなど、県内の公立文化施設の運営に関して指導・助言を行った。

子ども総合科学館においては、県内42児童館により構成される栃木県児童館連絡協議会の事務局として、児童館相互及び児童館職員間の連絡・交流活動、全国の動向などの情報提供、児童館運営や職員の資質向上に関する各種研修会の開催などを行った。

また、埋蔵文化財センターにおいては、前年度に引き続き、全国47の埋蔵文化財法人で構成する、全国埋蔵文化財法人連絡協議会に所属し情報交換等を行った。

II 処務の概要

1 役員等に関する事項

令和3年度中における役員等の異動は、次のとおりであった。

(1) 理事の異動状況

① 就任

氏名	就任年月日	備考
森澤 隆	令和3年4月1日	公益財団法人とちぎ未来づくり財団理事長
小祝 章二	令和3年4月1日	公益財団法人とちぎ未来づくり財団副理事長
香川 眞史	令和3年4月1日	栃木県子ども総合科学館館長
星野 肇	令和3年4月1日	栃木県教育委員会事務局生涯学習課長
(一斉改選 : 任期は令和5年度に開催の定時評議員会の終結の時まで)		
森澤 隆	令和3年6月25日	公益財団法人とちぎ未来づくり財団理事長
小祝 章二	令和3年6月25日	公益財団法人とちぎ未来づくり財団副理事長
青木 榮二	令和3年6月25日	栃木県青少年育成指導員会会長
稲見 けい子	令和3年6月25日	とちぎミュージカル協会会長
香川 眞史	令和3年6月25日	栃木県子ども総合科学館館長
金田 淳	令和3年6月25日	栃木県PTA連合会会長
金田 繁夫	令和3年6月25日	栃木県埋蔵文化財センター所長
野原 恵美子	令和3年6月25日	栃木県県民生活部次長兼県民文化課長
星野 肇	令和3年6月25日	栃木県教育委員会事務局生涯学習課長
水越 久夫	令和3年6月25日	栃木県交響楽団理事長

② 退任

氏名	退任年月日	備考
(任期满了)		
森澤 隆	令和3年6月25日	公益財団法人とちぎ未来づくり財団理事長
小祝 章二	令和3年6月25日	公益財団法人とちぎ未来づくり財団副理事長
稲見 けい子	令和3年6月25日	とちぎミュージカル協会会長
香川 眞史	令和3年6月25日	栃木県子ども総合科学館館長
金田 繁夫	令和3年6月25日	栃木県埋蔵文化財センター所長
土田 陽吉	令和3年6月25日	前栃木県青少年育成指導員会会長
野原 恵美子	令和3年6月25日	栃木県県民生活部次長兼県民文化課長
橋本 和英	令和3年6月25日	前栃木県PTA連合会専務理事
星野 肇	令和3年6月25日	栃木県教育委員会事務局生涯学習課長
水越 久夫	令和3年6月25日	栃木県交響楽団理事長
森澤 隆	令和4年3月31日	公益財団法人とちぎ未来づくり財団理事長
小祝 章二	令和4年3月31日	公益財団法人とちぎ未来づくり財団副理事長
香川 眞史	令和4年3月31日	栃木県子ども総合科学館館長
野原 恵美子	令和4年3月31日	栃木県県民生活部次長兼県民文化課長

(2) 監事の異動状況

① 就任

氏名	就任年月日	備考
(一斉改選 : 任期は令和7年度に開催の定時評議員会の終結の時まで)		
齋藤 一寿	令和3年6月25日	足利銀行県庁内支店長
齋藤 秀樹	令和3年6月25日	公認会計士・税理士

② 退任

氏名	退任年月日	備考
(任期满了)		
石塚 伸	令和3年6月25日	公認会計士・税理士
横山 順一	令和3年6月25日	足利銀行本店ローン事業部長

(3) 評議員の異動状況

① 就任

氏名	就任年月日	備考
(一斉改選 : 任期は令和7年度に開催の定時評議員会の終結の時まで)		
安久都 和夫	令和3年6月25日	栃木県文化協会参与
荒川 政利	令和3年6月25日	栃木県教育委員会教育長
上野 憲示	令和3年6月25日	文星芸術大学名誉学長
大森 玲子	令和3年6月25日	宇都宮大学地域デザイン科学部教授
菊池 宏行	令和3年6月25日	東京石灰工業(株)代表取締役社長
久保 正洋	令和3年6月25日	下野新聞社論説委員長
酒寄 雅志	令和3年6月25日	國學院大學栃木短期大学日本文化学科教授
宍戸 良子	令和3年6月25日	作新学院大学女子短期大学部幼児教育科准教授
千金楽 宏	令和3年6月25日	栃木県県民生活部長
林 香君	令和3年6月25日	陶芸作家

② 退任

氏名	退任年月日	備考
(任期满了)		
安久都 和夫	令和3年6月25日	栃木県文化協会参与
荒川 政利	令和3年6月25日	栃木県教育委員会教育長
上野 憲示	令和3年6月25日	文星芸術大学名誉学長
大森 玲子	令和3年6月25日	宇都宮大学地域デザイン科学部教授
菊池 宏行	令和3年6月25日	東京石灰工業(株)代表取締役社長
酒寄 雅志	令和3年6月25日	國學院大學栃木短期大学日本文化学科教授
宍戸 良子	令和3年6月25日	作新学院大学女子短期大学部幼児教育科准教授
鈴木 憲一	令和3年6月25日	下野新聞社論説委員
千金楽 宏	令和3年6月25日	栃木県県民生活部長
林 香君	令和3年6月25日	陶芸作家
酒寄 雅志	令和3年12月8日	國學院大學栃木短期大学日本文化学科教授
荒川 政利	令和4年3月31日	栃木県教育委員会教育長
千金楽 宏	令和4年3月31日	栃木県県民生活部長

2 役職員数に関する事項

(令和4年3月31日現在)

(1)役員等

役職名	常勤	非常勤	計
理事長	1		1
副理事長	1		1
理事		8	8
監事		2	2
評議員		9	9
計	2	19	21

(2)職員

所属	職名	県派遣職員	財団職員	財団嘱託員 臨時補助員	計	備考	
本部事務局 (栃木県総合 文化センター を含む)	事務局長		1		1		
	館長		1		1		
	事務局次長						
	副主幹兼課長	1	3		4		
	副主幹		3		3		
	係長		4		4		
	主査						
	主任		2		2		
	主事		6		6		
	嘱託事務員				7	7	
育成事務嘱託員				1	1	(非常勤)	
臨時補助員				1	1		
	小計	1	20	9	30		
栃木県子ども 総合科学館	館長		1		1	(理事兼務)	
	副館長	1			1		
	副館長兼課長		1		1		
	副主幹兼課長		3		3		
	副主幹		2		2		
	係長	1			1		
	主査	3	1		4		
	主任		1		1		
	主事	1	3		4		
	嘱託事務員				2	2	
	児童厚生員				3	3	
嘱託員				19	19	(非常勤)	
臨時補助員				2	2		
	小計	6	12	26	44		

所 属	職 名	県派遣職員	財 団 職 員	財 団 嘱 託 員 臨 時 補 助 員	計	備 考
栃木県立とちぎ海浜自然の家	所 長		1		1	
	副所長兼課長		1		1	
	課 長	1			1	
	主 査	1			1	
	主 任	1			1	
	指導主事	7			7	
	指 導 員		9		9	
	嘱 託 事 務 員			3	3	
	臨 時 補 助 員			2	2	
小 計	10	11	5	26		
栃木県立なす高原自然の家	所 長		1		1	
	副 所 長	1			1	
	副 主 幹	2			2	
	社教主事	1			1	
	指導主事					
	主 任					
	技 査					
	指 導 員		2		2	
	嘱 託 事 務 員			1	1	
嘱 託 指 導 員			2	2		
小 計	4	3	3	10		
栃木県埋蔵文化財センター	所 長		1		1	(理事兼務)
	副所長		1		1	
	副主幹兼課長		4		4	
	副 主 幹		7		7	
	係 長		1		1	
	主 任		2		2	
	嘱 託 調 査 員			5	5	
	整 理 補 助 員			6	6	
小 計	0	16	11	27	*他に人材派遣 会社社員2名	
合 計	21	62	54	137		

3 理事会及び評議員会の開催状況

(1) 理事会

開催年月日等	議 事 事 項	会議の結果
第37回理事会 令和3年4月1日 (決議の省略)	理事長1名選定の件 副理事長1名選定の件	可決 (賛成10)
第38回理事会 令和3年6月9日	第1号議案 令和2年度公益財団法人とちぎ未来 づくり財団事業報告について 第2号議案 令和2年度公益財団法人とちぎ未来 づくり財団収支決算報告について 第3号議案 評議員及び役員の候補者について 第4号議案 第25回評議員会の招集及び提出議 題について 報告 職務の執行状況について	可決 (賛成10) 可決 (賛成10) 可決 (賛成10) 可決 (賛成10)
第39回理事会 令和3年6月25日	第1号議案 公益財団法人とちぎ未来づくり財団 理事長及び副理事長の選定について	可決 (賛成8)
第40回理事会 令和3年12月2日	報告第1号 職務の執行状況について 第1号議案 令和3年度公益財団法人とちぎ未来 づくり財団収支補正予算案について 第2号議案 第26回評議員会の招集及び提出 議題について	可決 (賛成10) 可決 (賛成10)
第41回理事会 令和4年3月15日	第1号議案 令和4年度公益財団法人とちぎ未来 づくり財団事業計画案について 第2号議案 令和4年度公益財団法人とちぎ未来 づくり財団収支予算案について 第3号議案 評議員及び役員の候補者について 第4号議案 公益財団法人とちぎ未来づくり財団 規程の一部改正について 第5号議案 第27回評議員会の招集及び提出議 題について	可決 (賛成7) 可決 (賛成7) 可決 (賛成7) 可決 (賛成7) 可決 (賛成7)

(2) 評議員会

開催年月日等	議 事 事 項	会議の結果
第25回評議員会 令和3年6月25日	報告第1号 令和2年度公益財団法人とちぎ未来づくり財団事業報告について 第1号議案 令和2年度公益財団法人とちぎ未来づくり財団収支決算報告について 第2号議案 評議員及び役員の選任について	可決（賛成8） 可決（賛成8）
第26回評議員会 令和3年12月24日	報告第1号 令和3年度上半期公益財団法人とちぎ未来づくり財団事業報告について 第1号議案 令和3年度公益財団法人とちぎ未来づくり財団収支補正予算案について	可決（賛成7）
第27回評議員会 令和4年3月25日	第1号議案 令和4年度公益財団法人とちぎ未来づくり財団事業計画案について 第2号議案 令和4年度公益財団法人とちぎ未来づくり財団収支予算案について 第3号議案 評議員及び役員の選任について 第4号議案 役員の報酬等について 報告第1号 公益財団法人とちぎ未来づくり財団規程の一部改正について	可決（賛成7） 可決（賛成7） 可決（賛成7） 可決（賛成7）

4 寄付金に関する事項

寄附の目的	寄附者	寄附申込額	領収金額	備考
青少年健全育成活動推進	菊池宏行 氏	500,000	500,000	
青少年健全育成活動推進	栃木県更生保護女性連盟	100,000	100,000	
計		600,000	600,000	

事業報告付属明細書

令和3年度事業報告においては、「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当するものはない。